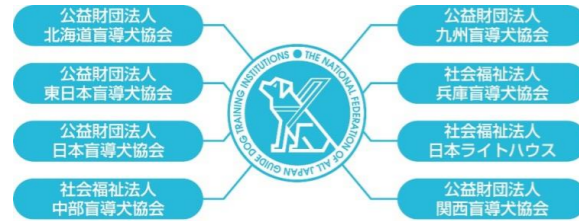


令和2（2020）年度 事業活動報告・活動計算書

（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

認定特定非営利活動法人 全国盲導犬施設連合会

事業活動結果



「ともに生きる、ともに歩む」を共通の理念に、視覚障害者が盲導犬を使用し自立と社会参加を図れるよう、全国の盲導犬訓練法人施設の連合体として、広く盲導犬の普及啓発、相談、盲導犬無償貸与への助成等を実施した。

1. 普及啓発事業

- 1) 広報誌デュエット30号15万部、ポスター6千枚を作成配布、並びに店舗等の入口に貼っていただく補助犬同伴可ステッカーを無償配布した。
- 2) 視覚障害者向け盲導犬情報（点字版、墨字版、CD版）を2回（9月25号、3月26号）発行し、盲導犬ユーザー、点字図書館、盲導犬育成施設、都道府県視覚障害者担当部局などに配布した。
- 3) 盲導犬ふれあい教室など啓発イベントについては、新型コロナ禍の影響を受け、延期若しくは中止になり実施できなかった。
- 4) 寄附・募金箱設置協力企業へ、良い機会を捉えて感謝状を贈呈・郵送し、感謝の意を伝えた。
- 5) 連合会オリジナル盲導犬カレンダーを例年通り作成し、寄附者や関係各所へ配布し、盲導犬事業への理解および普及の促進に努めた。
- 6) 補助犬同伴可ステッカーを掲示している店舗宛てに盲導犬ハンドブックを発送して、業種ごとにユーザーへの対応方法を例示するとともに、盲導犬受け入れの促進に努めた。
- 7) 大手スーパーに設置している等身大盲導犬募金箱について、1台の新規導入、33台の修理入替を行い、盲導犬事業への理解促進に努めた。
- 8) DUETサポーター向けの活動報告書DUETサポーター通信VOL.1を200部発行し、サポーター会員及び支援企業へ配布した。



2. 相談室事業

- 1) 盲導犬貸与希望、入店拒否、使用者相談、事業者・市民からの相談など177件の受付対応を行い、加盟施設と協力してすみやかに具体的な解決を図った。
- 2) 盲導犬ユーザーによる犬の不適正使用の目撃クレーム通報について、各施設と連携して調査を迅速に行い、その結果を通報者へ回答するなど丁寧に説明し、盲導犬事業に対する理解を図った。

3. 資格認定事業

- 1) 訓練士4名を、資格認定審査要綱に則り、以下のとおり知識・技能を確認し、資格を認定した。
 - ・学科修得確認テストを8月と12月に実施
 - ・実技審査会を、2月に本年度は特例を設け事前収録映像を用いてオンラインにて開催
 - ・実技審査員打ち合わせ会を3月にオンラインにて開催
 - ・資格認定委員会を、書面とオンラインにより4月、6月、10月、12月、3月の5回開催
 - ・理事会に本年度の資格認定者を付議 3月
- 2) 資格認定審査要綱について、更新時に休職・育休中等の者の取扱いの見直しを行った。



4. 研修事業

- 1) 資格認定審査申込者を対象にしたスクーリングについては、盲導犬育成ジャパンセミナーのプログラムに組み込み実施しているが、今年は新型コロナ禍のため、盲導犬訓練士に関してはオンライン開催の盲導犬育成ジャパンセミナーへの参加でスクーリング要件を満たすこととした。
- 2) 加盟施設間職員交流事業は、職員が一堂に会して意見交換と交流するため、本年度は3密回避のため実施を見送った。

5. 使用者団体との相互協力事業

全日本盲導犬使用者の会(全犬使会)総会、交流会（奈良県橿原市大会）は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため中止となった。



6. 情報交換及びネットワーク構築事業

- 1) 各訓練施設の責任者全員による運営委員会を新型コロナ禍のため、書面1回、オンライン4回の計5回開催し、盲導犬の育成訓練と普及、事業に係る諸課題について協議した。
- 2) 2月17日、第6回盲導犬育成ジャパンセミナーを、新型コロナ禍のためオンラインにて開催した。
- 3) 令和元年度（2019）盲導犬訓練施設年次報告書「(社福)日本盲人社会福祉施設協議会編」の印刷と関係部署への発送を行った。
※令和2年3月末日現在、国内の盲導犬実働数は909頭。国内の盲導犬育成訓練指定法人全11団体が令和元年度中に育成した盲導犬の頭数は102頭。内訳は、新しく盲導犬ユーザーのパートナーとなった盲導犬は33頭、2頭目以降の代替犬は69頭。
- 4) ANACargoによる盲導犬割引輸送協力利用の実績は26回であった。
- 5) 日本自動車販売協会連合会「自販連公益信託盲導犬育成基金」の終了に際し、残余財産の寄附を受け、ハーネスバッグを600個制作、各施設に配布した。

7. 財政基盤支援事業

盲導犬の無償貸与促進を図るため、加盟施設が実施する盲導犬無償貸与にかかる費用の一部助成（1頭200万円）について、希望する視覚障害者に施設をとおして、助成として10頭、補助として8頭合わせて18頭（3600万円）を行った。

8. 調査研究事業

加盟訓練施設における新型コロナウイルス感染症への対応策について調査し、情報共有を行った。

9. 国際交流事業

隔年開催の国際盲導犬連盟セミナーについては、5月にチェコ共和国プラハ市で開催予定であったが、新型コロナ禍の影響で9月に延期され、その後中止となった。

10. 顕彰事業

本年度退任した理事（副理事長）へ、感謝状の贈呈および記念品の授与を行った。

活動計算書			(単位:円)
1) 収益の部			
大科目	中科目		金額
受取会費	正会員受取会費		850,000
	計		850,000
受取寄附金	個人寄附金		14,318,842
	団体・法人寄附金		6,385,733
	特別寄附金		12,713,233
	募金		67,510,937
	計		100,928,745
その他収益	受取利息		22,885
	指定正味財産振替額		16,000,000
	計		16,022,885
経常収益計			117,801,630
2) 費用の部			
大科目	中科目		金額
事業費	人件費		25,736,925
	普及啓発事業費		12,548,738
	相談室事業費		596,249
	資格認定事業費		66,486
	研修事業費		0
	使用者団体相互協力事業費		0
	情報交換・ネットワーク事業費		1,198,898
	財政基盤支援事業費		36,000,000
	調査研究事業費		71,831
	国際交流事業費		0
	顕彰事業費		6,590
	計		76,225,717
管理費	人件費		2,929,574
	その他管理費		3,707,247
	計		6,636,821
経常費用計			82,862,538
当期経常増減額			34,939,092